

情報技術教育分科会 活動内容 2003年  
第2回ソフトウェア・ツール学生コンテスト

- 主催 化学工学会 システム・情報・シミュレーション部会・情報処理技術教育分科会
- 協力 (株) オメガシミュレーション
- 会場 神戸大学ー化学工学会第35回秋季大会S会場 (3階 K301)
- 日時 平成14年9月18日(水)ー第35回秋季大会初日
- 応募資格 大学・大学院・高専などに在学中の学生の個人またはチーム  
(ただし、平成14年3月卒業・修了の社会人はチームメンバーに参加可)
- テーマ ソフトウェア・ツール全般、例えば、  
独自で開発したソフト (計測、データ処理、シミュレーション)  
既存のソフトウェアの利用 (新しい使い方、ちょっとした工夫) など
- 発表形式 数分程度の概要発表および各ブースでのデモンストレーション  
(概要発表用のプロジェクターは用意いたします。コンピュータ等デモ用機材は各自ご用意ください。発表時間、発表形式の詳細は、参加者が確定し次第、ご連絡します。)
- 審査方法 一般来場者の投票及び主催分科会委員から選ばれた審査委員による審議
- 参加者一覧
- 作者：平井 亮 (日本大学)  
テーマ：「化工物性の検索・推算データベース」  
  
(最優秀賞)
- 作者：倉岡 清志、加藤 淳義 (東京工業大学)  
テーマ：「スケジュール入力支援Webアプリケーション」  
  
(優秀賞)
- 作者：渡辺 紘道 (東京工業大学)  
テーマ：「株価取得webアプリケーション」  
  
作者：辻 哲治 (九州大学)  
テーマ：「粒子シミュレーションによる二軸スクリュ押出機内の樹脂材料挙動解析」  
  
作者：遠藤 淳史 (東京工業大学)  
テーマ：「Microsoft Excelを用いた簡易な多変量解析ツール」  
  
(優秀賞)
- 作者：高地 健太 (京都工芸繊維大学)  
テーマ：「高分子溶液の相分離過程のシミュレーション」

作者：上田 健、藤沢 亮 (名古屋大学)

テーマ：「吸着ヒートポンプ解析シミュレーション」

## コンテストを終えて

昨年1回より1件多い7チームの参加を得て、「第2回ソフトウェア・ツール学生コンテスト」を開催しました。

昨年とは異なる大学の参加もあり、コンテストの広がりが感じられます。コンテストは、昨年同様に1チーム10分ほどのプレゼンテーションとポスター形式のデモンストレーションで構成され、参加者、主催者及び来場者全員で採点する方式をとりました。

7件のソフトの内容は様々ですが、自分が関与する研究のなかで作成したものと、全てオリジナルな発想で作られたものに分かれました。前者は比較的完成度が高いものの、専門性が強い故、利便性やオリジナリティを測りにくく採点もばらつく傾向にあるのに対して、後者は完成度ではもう1歩のものもありましたが、ユニークでアイデアが盛り込まれていたように思われます。ともあれ、プレゼンテーションが終わり、デモンストレーションに移ると、売り込みさながら来場者への説明があちらこちらで始まり、大いに盛り上がりを見ることとなりました。

昨年同様に、今年もビジュアルに訴える工夫を凝らしたものが多く見受けられました。機能や何に役立つかを訴えるのに、ビジュアルに見せることは重要ではないでしょうか。また、開発する立場から見ると、Webプログラミングを使ったソフトが目新しく写りました。インターネットをうまく使って、他のWebサーバから情報を取り入れて動作する。すべての機能を自分で作るのではなく、他のWebサーバの機能を利用したり、データを利用したりする。

インターネット上での機能分散の考え方は、これからのソフト開発のひとつの方向性であると思えます。

開発言語やツールも、いろいろなものが使われており、最新技術の取り入れも積極的で、若い力を感じることができました。

最後に、参加された学生諸氏の氏名と所属を紹介させて頂くとともに、「第3回ソフトウェア・ツール学生コンテスト」への参加をお願いして結びと致します。

化学工学会・SIS部会・情報処理技術教育分科会

オーガナイザー：(株)オメガシミュレーション横山 克己

(化学工学、66(12)798-799(2002))